

令和4年度
中学校教育課程編成の手引
【各教科等編】

道徳科における
1人1台端末を活用した
「個別最適な学びと協働的な学び」

北海道教育委員会

道徳科における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」

1 単元（題材）の概要

学 年：第3学年

主 題 名：「内なる自分に恥じない気高い生き方」（内容項目D（22）よりよく生きる喜び）

教 材 名：二人の弟子（文部科学省「私たちの道徳 中学校」）

本時のねらい：智行の涙の意味から、弱さや醜さと向き合い克服することについて考えることを通して、人間として生きることに喜びを見出そうとする態度を育てる。

2 事例におけるICT活用のポイント

- ・「自分ならどうするか」という観点で道徳的価値と向き合ったり、自分とは異なる意見をもつ友だちと議論したりする学習活動において、端末で他者の考えを知り、共有することにより、多面的・多角的に考えを深めることができます。
- ・他者との議論を踏まえて、改めて自己を見つめるなど、多面的・多角的な思考を促す学習活動において、端末に自己の生き方について考えを入力し、全体で共有することにより、道徳的価値を自分自身との関わりの中で深めることができます。

3 使用したソフトや機能

- ・プレゼンテーションソフト
- ・学習支援ソフトのファイル共有機能

【参考資料】

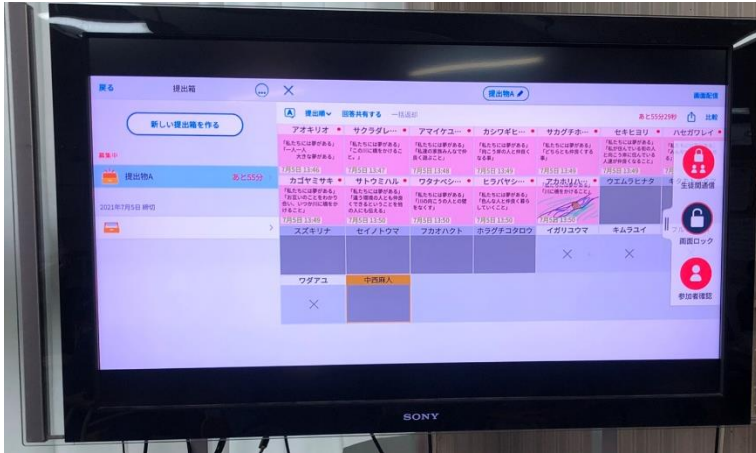
- ・StuDX Style
各教科等における1人1台端末の活用
各教科等での活用〔中学校 特別の教科 道徳・事例〕（文部科学省）



道徳科における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」

4 1人1台端末の活用例

【ICTの活用場面①】



〔道徳的価値を多面的・多角的に考える〕

- ・ 「自分の考えをもつ」「他者の考えを知る」学習活動において、端末に入力した互いの考えを大型提示装置で確認し、他者の考えを知り、共有しながら多面的・多角的に考えを深めます。
- ・ ファイル共有機能を活用し、発言が苦手な生徒を含めた多様な考えを取り上げることにより、生徒は、互いの考えを十分に確かめ、共有しながら、自分の考えを広げたり深めたりすることができます。
- ・ 生徒一人一人の考えや考えの全体分布を視覚的に整理して示すことにより、相互の考えについて根拠に基づいた議論を促すことができます。

【ICTの活用場面②】



〔道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める〕

- ・ 教師は、端末に入力された生徒の考えを把握・整理し、全体で共有するための発問や指示、指名など、その後の学習指導過程を構想します。
- ・ 生徒は、教師の意図的な指名や問い返しにより、多面的・多角的な思考を通じて、改めて自己を見つめ、変容や成長を実感することができます。
- ・ 教師は、生徒の思考した内容を記録し、学習状況や道徳性に係る成長の様子として蓄積することにより、授業改善に生かすことができます。

道徳科における1人1台端末の効果的な活用

①道徳的価値を多面的・多角的に考える

「自分ならどうするか」という観点から道徳的価値と向き合うとともに、自分とは異なる意見をもつ他者と議論することを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考えることができます。**(赤字が端末の活用を想定)**

①自分の考えをもつ

自分の立場や考えを選択し端末に入力する。

②他者の考えを知る

端末で他者の考えを知る。

③他者と議論する

相互の考えについて根拠に基づき、議論する。

④全体で共有する

端末に入力した全体の考えを共有し、振り返る中で考えを深める。

②道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める

他者との合意形成や具体的な解決策を得ること自体が目的ではなく、多面的・多角的な思考を通じて、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めることができます。**(青字が端末の活用を想定)**

①他者と議論する

他者との議論を通して道徳的価値を理解する。

②自己を見つめる

改めて自己を見つめ、整理し、**端末に考えを記入する。**

③教師が把握する

教師が**端末に入力された生徒の考えを把握・整理し、全体に共有する。**

④全体に紹介する

生徒の考えを全体に紹介する。

【参考資料】

・特別の教科 道徳の指導におけるICTの活用について
(文部科学省)



【スライド資料】



【解説動画】